

たなかりか 日本語×英語 vol.2



たなかりか (vo)

広島県出身。大学と共に関西に移り住み歌を始める。大学卒業後は商社で働きながら関西を中心にライブハウス・ホテルなどで活動始める。

2001年「神戸ジャズボーカルクイーンコンテスト」準グランプリ獲得。その後、会社を退職しプロへ転向。2004年ファーストアルバム「On Green Dolphin Street」をリリースし全国ツアーを行う。その後は、関西を拠点に九州から北海道まで日本全国で活動中。

2009年7月ポニーキャニオンよりアルバム「Colors」でメジャーデビュー。

2011年2月メジャー第二弾「When She Flows」リリース。

2012年4月にはメジャー第三弾として全編日本語のJ-Popのジャズカバーアルバム「Japanese Songbook」をリリース。

2015年1月第4弾としてブロッサム・ディアリーへのトリビュート・アルバム「Flowers for Blossom」をHQCD高音質盤とハイレゾ配信（ステレオ・サラウンド）でリリース。

2016年11月メジャー第5弾として全編日本語のJ-Popのジャズカバーアルバムの続編「Japanese Songbook 2」をリリース。

また2011年4月より積和不動産中部のCM音楽に起用される。

2015年10月よりラジオ関西でも『KOBE JAZZ-PHONIC RADIO』のDJを担当している。

ライブパフォーマンスにも定評があり、若い女性から中高年の男性まで幅広い層に支持されている。



鈴木正人 (b)

1971年6月ベルリン生まれ。ベーシスト/アレンジャー/プロデューサー。1987年、高校在学中に青柳拓次 (Vo/G)、栗原務 (Dr) と LITTLE CREATURES を結成し、90年にシングル「THINGS TO HIDE」でメジャーデビュー。

その後、渡米しパークリー音楽院に入学。帰国後はバンド活動と平行して、ベーシスト、プロデューサーとしても活動。

2005年3月、文筆家の内田也哉子 (vo) と COMBO PIANO の渡邊琢磨 (pf) と「sighboat」を結成。2006年、自身初となるソロアルバム「UNFIXED MUSIC」をリリース。

2007年、菊地成孔ダブ・セクステットに参加。2020年、デビュー30周年を迎える。

人と人、音と音を繋ぎながら、シーンにおけるキーパーソンとして、その存在感を高めている。



ハタヤテツヤ (p)

1975年、京都生まれ。幼少の頃よりクラシックピアノを始める。

1999年より「EGO-WRAPPIN」のピアニスト/キーボーディストとしてキャリアをスタート。

2004年、インストゥルメンタル・ジャムバンド「grooveline」に加入、ビクターエンタテインメントより「one minute」「the missing key」の2作品をリリースする。

2006年、同バンド脱退以降はピアニスト/作編曲家として

現在までに様々なアーティストのレコーディング、ツアーに参加。

自身のソロワーク「Cuebach」やバンド「Speak No Evil」での活動も展開中。



坂田学 (ds)

1973年生まれ。父はサクソ奏者の坂田明。93年米国 Musicians Institute へ留学。94年帰国後、ドラマーとして活動始める。共演者は、森山直太郎、ハナレグミ、秦基博、中島美嘉、ハンバートハンバート、松下奈緒、トータス松本、Bonnie Pink 等のポップス系から、大友良英、塩谷哲、勝井祐二、坂田明、ジムオルーク、小沼ようすけ、たなかりか等のジャズ、即興音楽まで幅広い。ピラニアンズ、Polaris (05年脱退)、ダブダブオンセン等のバンドでも活動してきた。2004年、ドラマーという枠にとらわれないソロ活動を開始。アンビエント、エレクトロニカ、ダブの要素を取り入れ、構築と即興が共存する「gradation」、アニメーションのサウンドトラック「Music for Nyancos」など、2005年に3枚のインスト・アルバムをリリース。その後、徐々にドラマーとシンガー・ソングライターが交錯。制作期間10年を経て、歌もの中心のアルバム『木の奥』を2017年リリース。ジャンルや肩書きを説明しにくいスタイルで活動中。



岡崎市図書館交流プラザ

<https://www.city.okazaki.lg.jp/libra/>

お問合せ先／

岡崎市図書館交流プラザ

〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地

TEL 0564-23-3100

